施工説明書

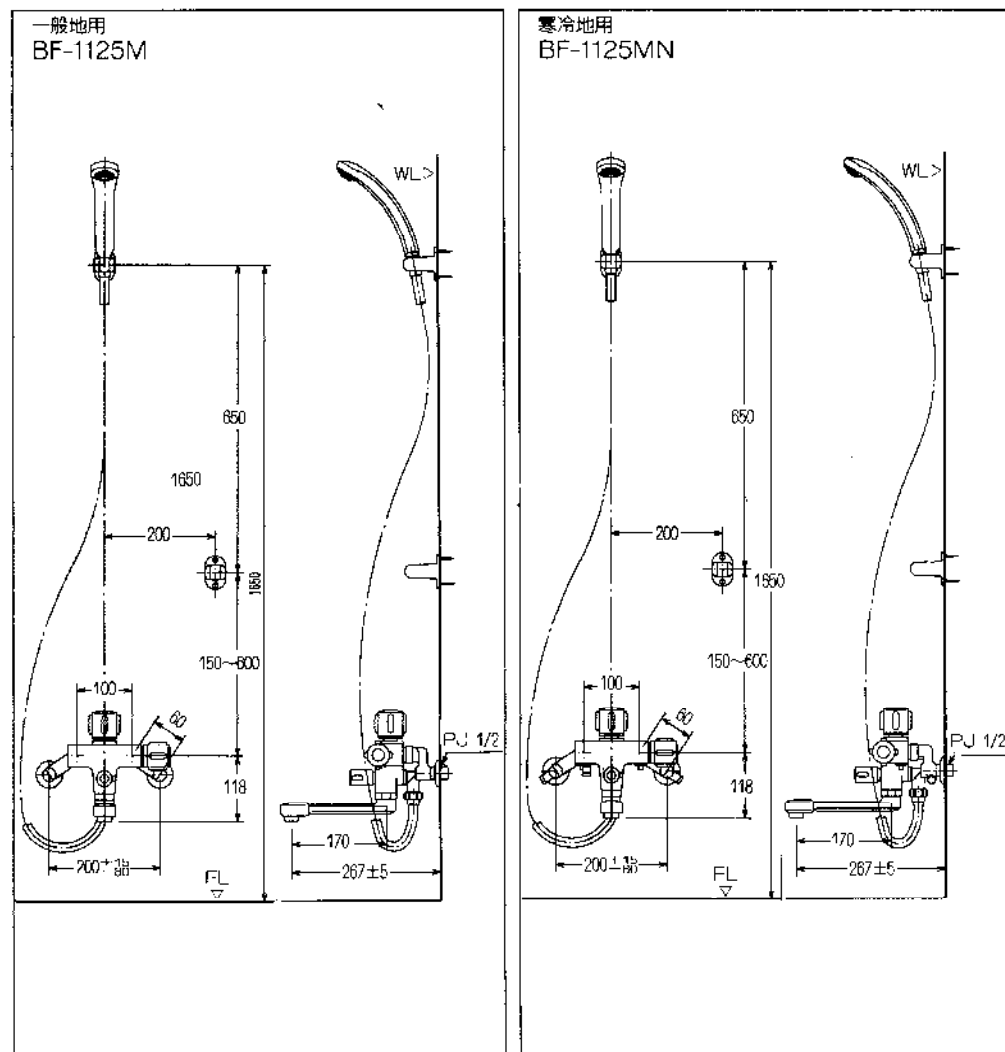
INAX

プレッツォシリーズ

一般地用 BF-1125M　寒冷地用 BF-1125MN

ミキシング付シャワーバス水栓

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。

〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕

給水圧力 {最低必要圧力……A+0.06MPa{0.6kgf/㎠}
　　　　　最高圧力…………0.74MPa{7.5kgf/㎠}

Aはガス給湯器の最低作動水圧です。

●測定条件

※開閉ハンドルは全開です。

※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。

※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。

※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式湯水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 {最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
　　　　　　　　最高圧力…………0.74MPa{7.5kgf/㎠}

● 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

●給水圧力が0.74MPa{7.5kgf/㎠}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.2MPa{2kgf/㎠}程度)に減圧してください。

●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。

●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
　※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
　※逆配管では表示通りに湯が出ません

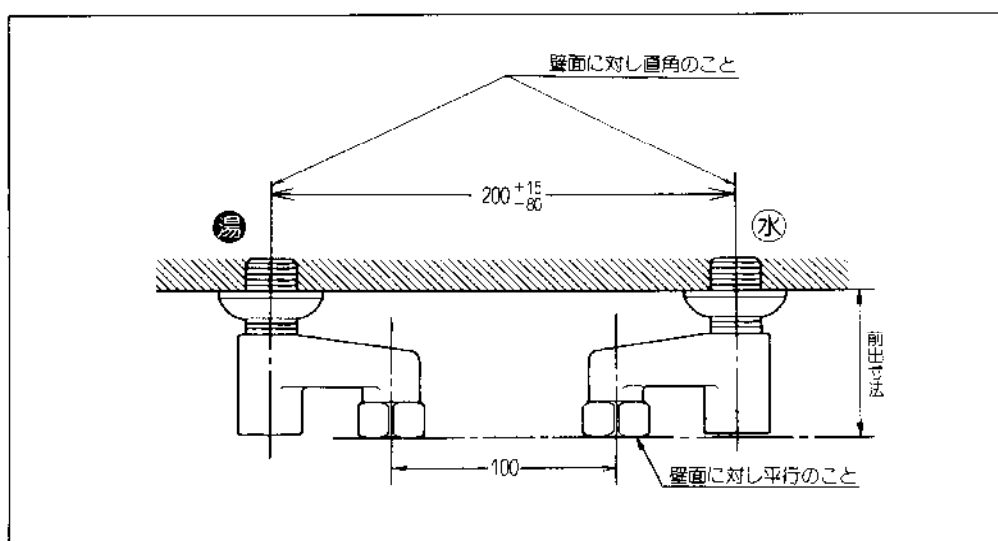
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。

●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
　※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

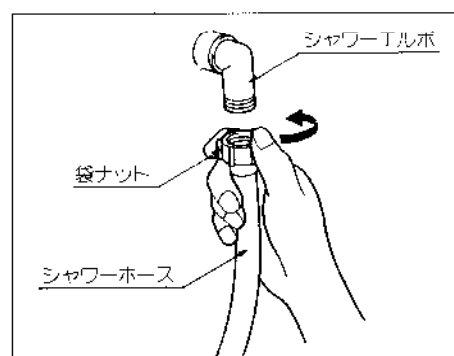
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。

●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

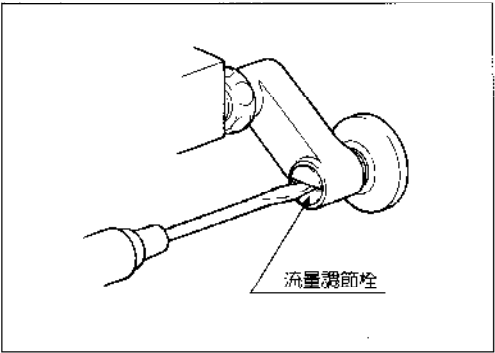
1. 湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるよう取り付けます。

2. シャワーホースとシャワーエルボの接続は、手締めでしっかりと固定します。
　※工具を使用すると、シャワーホースの袋ナットがキズ付く恐れがあります。
　※シャワーエルボは締め込まないでください。破損の恐れがあります。

株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700	札幌支社 ☎011-271-1701	東北支社 ☎022-263-1710	東京支社 ☎03-5541-7111	西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710	千葉支社 ☎043-227-8171	埼玉支社 ☎046-668-1177	東関東支社 ☎0286-37-3378	関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166	名古屋支社 ☎052-201-1717	静岡支社 ☎054-251-1710	北陸支社 ☎0762-64-1710	大阪支社 ☎06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794	広島支社 ☎082-223-1710	四国支社 ☎0878-21-1701	福岡支社 ☎092-471-1710	南九州支社 ☎096-322-1794

●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa｛2kgf/㎠｝を超える場合は水側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

1．シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に切り替え、開閉ハンドルを全開にします。
2．温度調節ハンドルを「C」側に合わせ吐出し、「H」側で吐出させたときとほぼ同じ吐出量になるように水側の流量調節栓を調節します。

●引渡前の確認

引渡前の調節および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		使用条件の項参照
	ストレーナーのゴミ詰まりは？	①（湯側と水側）	ゴミ等を水で洗い流す
	流量調節栓は十分開いているか？	②（湯側と水側）	流量調節栓を十分開く
	整流口の整流網のゴミ詰まりは？	④（湯側と水側）	ゴミ等を水で洗い流す
水が止まらない	キズ、ゴミかみはないか？	③	ゴミ等は水で洗い流す キズは部品を交換する
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ （ゴミ、砂かみは？） （パッキン、シートにキズは？）	①（湯側と水側）	ゴミ等は水で洗い流す キズは部品を交換する
希望の温度が得られない	湯、水は水栓まできているか？		使用条件の項参照
	ストレーナーのゴミ詰まりは？	①（湯側と水側）	ゴミ等を水で洗い流す
	流量調節栓は十分開いているか？	②（湯側と水側）	流量調節栓を十分開く